

平成18年度 東京都公立中学校事務職員会研究大会開催要項

1 目的

これからの新しい学校事務の確立を目指し、主体的に研究と研修を進め、学校事務職員の資質の向上を図り、よりよき学校教育の発展と生徒の育成に寄与する。

2 主催

東京都公立中学校事務職員会

3 後援

東京都教育委員会

東京都中学校長会

東京都公立中学校副校長会

(助)東京都教育公務員弘済会

4 参加者

東京都公立中学校事務職員並びに教育関係者

5 会場

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟(417・501・416・401)

渋谷区代々木神園町3-1

小田急線 「参宮橋」駅下車 徒歩7分

東京メトロ千代田線 「代々木公園」駅下車 代々木公園方面 4番出口 徒歩10分

6 期日

平成19年 2月19日(月)

7 日程

9:30 ~	10:00~12: 00	12:00~13: 00	13:00~13:50	14:00~17: 00
受付	開会式・講演 417	休憩	行政説明 501	分科会討議 501・416・401

8 受付

準備の都合上、参加予定者(都内・都外両方)は1月18日(木)までに必ずメールか別紙申込書でお申込下さい。詳細は別紙で確認願います。

申込先 〒103-0004 中央区東日本橋 1-10-1

中央区立日本橋中学校 事務室 小林 都

TEL 03-3851-5876

Webページ <http://www.tocyuji.com>

資料代として東京都外からの参加者のみ2,000円いただきます。

申し込みと同時に下記の口座にお振込み下さい。(手数料はご負担下さい。)

郵便局 記号10090 番号79182491

口座名義 とうきょうとこうりつちゅうがっこうじむしょくいんかい
東京都公立中学校事務職員会

9 ご注意

国立オリンピック記念青少年総合センターには、電話連絡ができません。当日、参加者や主催者に連絡等がある場合は、下記の電話にご連絡下さい。

080-5698-2764（東京都公立中学校事務職員会連絡専用）

10 講演（センター棟 417号室）

演題 「子どもと学校の安全」（仮題）

講師 早稲田大学 文学部 教授 喜多 明人氏

11 行政説明（センター棟 501号室）

演題 「短期給付制度の改正点について」

講師 東京都教育庁 福利厚生部 給付課 短期給付係長 江田 葉子氏

12 分科会

第1分科会（センター棟 501号室）

テーマ 「江戸川区における学校の備品管理と江戸川区非常勤事務職員の現状」

発表者 江戸川区中学校事務職員会特別研究グループ

PART Iとして、江戸川区中学校事務職員会が平成10年から区教委・収入役室・小学校事務職員会と共に取り組んできた〔学校用物品名鑑〕が出来上がるまでの過程と、平成15年度導入の財務システムによる備品管理の現状を考察します。

PART IIとして、平成15年度から始まった区費事務職員引き上げに伴う非常勤事務職員導入により、様々なしわ寄せが学校事務に押し寄せてきました。非常勤事務職員配置校から回収されたアンケートから見えるその現状と問題点を浮き彫りにし、今後の課題と事務職員会の役割について探ります。

第2分科会（センター棟 416号室）

テーマ 学校徴収金に関する3つの視点からの考察

－ 保護者負担軽減・現状分析・適正執行 －

発表者 東久留米市公立学校事務職員会

都立学校において学校徴収金に関する事務が校務として位置付けられました。こういう状況の中で、下記の問題関心を持って研究を進めてきました。

- ①都立学校において、学校徴収金に関する事務手続きが整備されたことに伴い、改めて、義務制学校における私費会計のあり方を考えなおす。
- ②『従前、「受益者負担」の考え方が、私費負担拡大の理論的裏付けとされる場合があります』（「学校徴収金等事務手引」、東京都教育委員会、p2）。こういう現状の下で、私費負担軽減につながる取り組みはできないのか。
- ③学校徴収金の適正かつ効率的な執行を図るには、どのような執行体制を作ればよいのか。また、どのような執行体制が望ましいのか。

理想的なマニュアルを追い求めるだけでなく、実際に事務職員が置かれている状況を反映した現実的な事務執行体制とはどういうものかを考えていきたいと思っています。

第3分科会 その1 (センター棟 401号室)

テーマ 「中野区の校務主事制度・財務電算・防犯システムについて」

発表者 中野区中学校事務職員会

中野区は、ここ数年大きな変革を経て、今日に至っています。

①区費事務職員引き上げに伴う校務主事制度の誕生(平成13年度)

②伝票処理会計から財務電算システムへの移行(平成17年度)

③防犯体制強化に伴う防犯システム・防犯道具の導入(平成17年度)

当日は、上記の概要を順に説明することにより、中野区の状況を研究大会に参加されたみなさまに、少しでも理解していただけたいと思います。

そして、最後はこういう変革期をとおして、われわれ中野区に働く職員は、今後どういう意識で仕事に望んでいけばよいのか、などに対して触れてみたいと思います。

第3分科会 その2 (センター棟 401号室)

テーマ 「事務職員会の活動報告」

発表者 立川市公立中学校事務職員会・小平市公立学校事務職員会

清瀬市小中学校事務職員会

事務職員会は会員相互の連携を図りながら研究活動に努め、会員の教養を高めるとともに資質の向上を図って、事務職員会(連絡会)・研修会・親睦会など各種の事業を行っています。また、地教委とも協力関係に努めて学校及び教育行政の発展に寄与しています。

これまで事務職員会は先輩たちのご尽力で発展してきましたが、出張の取り扱い問題・異動基準の見直し・職務の高度多様化による時間のやり繰り等様々な問題が私たちを取り巻く中で、その活動の状況は厳しさを増しています。また、これからも団塊の世代の大量退職や事務職員の任命権の委譲など、事務職員会の存続さえ危ぶまれそうな環境の変化が待ち受けていると感じます。

今回は、存続のために頑張っている多摩の三地区の活動報告をして、地区における事務職員会の必要性について皆さんと考えたいと思います。

【会場案内】

■国立オリンピック記念青少年総合センター■ 東京都渋谷区代々木神園町3-1



※ 本大会の内容についての問合せは、下記をお願いいたします。

板橋区立高島第二中学校 事務室 高橋 博

〒175-0062 板橋区高島平2-24-1 TEL 03-3936-1591